

計画の名称	弘前市の下水道における防災・安全対策の実現		
計画の期間	平成23年度～平成27年度(5年間)	交付対象	弘前市
計画の目標			

下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。

計画の成果目標(定量的指標)

- ①合流式下水道改善率を0%(H23当初)から100%(H25末)に増加させる。
- ②弘前市西部処理区管渠の長寿命化計画策定率0%(H23)から75%(H27)に増加させる。
- ③弘前市中継ポンプ場の長寿命化計画策定率0%(H23)から75%(H27)に増加させる。

定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)	
①合流式下水道改善率 合流式下水道改善済み面積(ha) / 合流式下水道改善面積(ha)	0%	100%	100%	
②下水道長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済みの管渠の延長(km) / 長寿命化計画(改築を含む)を策定すべき管渠の延長(km)	0%	25%	75%	
③下水道長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済みのポンプ場数(箇所) / 長寿命化計画(改築を含む)を策定すべきポンプ場数(箇所)	0%	0%	75%	

上段:計画 下段:実施

全体事業費	合計 (A+B+C)	845百万円 842百万円	A	845百万円 842百万円	B	0百万円 0百万円	C	0百万円 0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0% 0%
-------	---------------	------------------	---	------------------	---	--------------	---	--------------	---------------------------	----------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
弘前市上下水道部にて評価を実施	平成29年4月
	公表の方法
	市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A 下水道事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
1-A-5	下水道	一般	弘前市	直接	-	合流	新設	弘前処理区	汚水管φ150~200mm L=2.0km 汚水管φ150~200mm L=2.0km	弘前市						113 112	合流改善
1-A-7	下水道	一般	弘前市	直接	-	合流	新設	腰巻川第2排水区	大型水路2.0×1.2 L=0.9km 大型水路2.0×1.2 L=1.0km	弘前市						182 186	合流改善
1-A-8	下水道	一般	弘前市	直接	-	分流	改築	西部第4号幹線及び枝線	管更生L=1.8km、人孔蓋更新N=118箇所 管更生L=2.1km、人孔蓋更新N=118箇所	弘前市						166 176	長寿命化
1-A-9	下水道	一般	弘前市	直接	-	分流	改築	城西中継ポンプ場	ポンプ(3.3m ³ /分)、機械・電気・建築設備 ポンプ(3.3m ³ /分)、機械・電気・建築設備	弘前市						199 185	長寿命化
1-A-11	下水道	一般	弘前市	直接	-	分流	改築	城東中継ポンプ場	ポンプ(2.8m ³ /分)、機械・電気・建築設備 ポンプ(2.8m ³ /分)、機械・電気・建築設備	弘前市						116 99	長寿命化
1-A-14	下水道	一般	弘前市	直接	-	分流	全種	調査・設計等	管渠L=1.8km、ポンプ場N=4箇所、処理場N=1箇所 管渠L=2.5km、ポンプ場N=4箇所、処理場N=1箇所	弘前市						47 45	長寿命化
1-A-17	下水道	一般	弘前市	直接	-	分流	改築	堀越中継ポンプ場	ポンプ(2.2m ³ /分)、機械・電気設備 ポンプ(2.2m ³ /分)、機械・電気設備	弘前市						22 39	長寿命化
小計(下水道事業)											845 842						

B 関連社会資本整備事業				直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象							H23	H24	H25	H26	H27			
											合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		
C 効果促進事業				直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象							H23	H24	H25	H26	H27			
											合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況																	
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況				合流式下水道緊急改善事業を完了したことにより、放流先水質の改善を図ることができた。また、老朽化した施設の改築更新を計画的に実施することにより、施設機能の確保およびライフサイクルコストを低減することができた。													
II 定量的指標の達成状況				指標① 合流式下水道改 善率		最終目標値	100.0%	目標値と実績値 に差が出た要因	目標達成								
						最終実績値	100.0%										
				指標② 下水道長寿命化 計画策定率		最終目標値	75.0%	目標値と実績値 に差が出た要因	目標達成								
						最終実績値	76.0%										
				指標③ 下水道長寿命化 計画策定率		最終目標値	75.0%	目標値と実績値 に差が出た要因	目標達成								
						最終実績値	75.0%										
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）																	
3. 特記事項（今後の方針等）																	
本計画の最終目標は達成したが、今後も引き続き公共用水域の水質保全に努めるとともに、ストックマネジメント計画に基づき、点検・調査、修繕・改築を一体的に捉えて、計画的かつ効率的に下水道施設の管理を行っていく。																	

【参考図面】 社会資本総合整備計画（防災・安全社会資本整備交付金）

